

# 令和6年度 すずか幼稚園・第2すずかきしおか幼稚園 学校関係者評価書

評価項目	本年度の重点的活動計画	達成状況および成果と課題	(学校関係者評価)	今後の改善点
管理運営	<p>①園運営基本方針や教育目標に基づいた園運営や教育活動の推進を図るため、行事や活動の計画時に関係性を明示し、事後にねらいの達成について振り返る。</p> <p>②若年層の教員の教育活動に対し、指導やアドバイスを含めた支援ができるよう、指導を主務とする教員を配置する。</p> <p>③満3歳児学級が的確に位置づくよう運営する。</p> <p>④日々の教育活動や本年度の行動計画について学年で話し合う機会を確保する。</p> <p>⑤保護者アンケートを継続実施し、アンケート項目について検討する。</p>	<p>①園行事の企画立案の段階で行事のねらいを明確にすることにより、行事そのものと教育目標等との関連性を意識づけた。事後の反省の段階で、ねらいの達成について考察することにより、振り返りを行うことができた。日々の教育活動については、教育目標とのつながりを意識するまでには至っていないので、今後の共通理解を図りたい。</p> <p>②両幼稚園に「指導主務教員」を配置し、特に若年層の教員に対する支援や指導を行った。若年層が安心して教育活動にあたることのできるなどの成果もあるが、初めての取り組みであるため、園全体での指導主務教員の位置づけがはっきりしていない面の課題も見られた。また、教員の人数から考え、毎年の位置づけは難しい面もある。</p> <p>③両幼稚園に満3歳児学級(年年少組)を設定できた。入園する園児も当初計画通りとなった点は成果を感じる。今後は、募集方法についても検討していくとともに、満3歳児学級の教育活動の内容について検討していきたい。</p> <p>④毎月末に行動計画のチェック表をもとに各学年で話し合いを進めることができた。日々の教育活動についての振り返りや話し合いの時間については、まだ少ないと思われるため、今後も確保できるように努めたい。</p> <p>⑤保護者アンケートは継続して実施できた。今回のアンケートは3年目であるため、次年度に向けてアンケート項目の見直しを図りたい。</p>	<p>①行事のねらいや目的、目標を共有し、事後に振り返ることは今後の改善に良い流れができていると思います。振り返りを受けた、今後の改善点なども整理が整理され、来年度の計画への反映に繋がれるとさらに良いと思いました。</p> <p>①振り返り(検証)は非常に大切な部分です。引き続きPDCAを意識しベクトルを合わせて頂きたい。</p> <p>①行動そのものと教育目標との関連性にしっかりと取り組んでいただいていることがよくわかりました。</p> <p>①園運営基本方針や教育目標に基づいた園運営や教育活動の推進が図られている。評価書も簡条書きにさせていただき、とても見やすくなりました。</p> <p>①②場面場面でOJTしなければならない。そのためにも②の「指導主務教員」の配置と活用が重要。</p> <p>②若年層を意識した中間層の設置は問題点の抽出には効果的だと思いますが、今後は中間層のケアも忘れずをお願いします。</p> <p>②フリーの先生が7名みえる中で、特別支援に関わってみえる方が5名。各学年の子どもさんの指導をしていると理解しております。</p> <p>②指導主務教員の配置やメンターの設定は効果的だと思いますので、本年との成果を踏まえ、環境にあった体制へ改善していければと思います。また、主従関係のない状況での相談窓口の設置なども必要になってくるかと思いました。</p> <p>②若年層の先生方が増える中で、指導、助言ができる体制は必要なものであると思いますので、今後も配置できる時は継続していただきたいと思います。</p> <p>②年少担任は運動・あそび研究に取り組んでいただいています。家庭での様子など聞き取りをして、個々の特性をよく理解していただきますように。</p> <p>②若年層の教員支援のためにも「指導主務教員」の配置はぜひ充実させていただきたい。</p> <p>②「指導主務教員」の呼称を「リーダー」など簡単なものにして、日常的にその教員と話をするときに見えるようにすれば、お互いの意識づけにもなるのではないかと。</p> <p>②初めて「指導主務教員」の配置を取り組まれ成果も出てきたことは良い事です。しかし、若年層だけではなく、先生方全員が心に余裕があり、不安になったり悩んだりする時に相談しやすい組織であるのが大切だと思います。「どうせ言っても・・・」とならないよう風通しのよい職場であってください。</p> <p>③満3歳児学級は、幼稚園への入園を考えている主婦の方(保育園に預けられない方)にとっての育児のサポートとしてとてもありがたい取り組みであると思います。満3歳児学級を求めて探されている方はたくさんいると思いますので、募集方法や告知方法の検討が大切であると感じます。</p> <p>③こどもの数、鈴鹿市の人口減少を踏まえた長期的な経営戦略も必要になると思いました。</p> <p>③少子化の進む中で、年年少は良い取り組みだと思います。特にきょうだいがいる家庭が、下の弟妹の時に年年少に入れてみようと思うような働きかけが必要かと思っています。</p> <p>③将来的に必要なターゲット層だと思います。新たな取り組みでご苦労も多いと思いますが、しっかりと経験値を積み重ねてほしい。</p> <p>③貴重な実践記録をストックして活用してください。</p> <p>④他の業務も増える中で、どのように時間を確保していくかが課題かと思いました。働き方改革も求められる中、限られた時間をどのように時間を配分するのか検討する機会があっても良いかと思いました。</p> <p>⑤保護者アンケート3年目ということで、ある程度のデータは取れたかと思いますが、3年を可視化してどの部分への意見に対しどの程度対応したか、等のデータも見ればよいのかと思います。</p> <p>⑤マイナスの評価意見の分析も大切。プラス評価は共有して教員のモチベーションアップに。</p> <p>⑤先生方の頑張りが目に見えて分かります。資料を作成すること自体が意義のあることだと思います。資料を作成する過程で先生方の意識が向上し、また、独りで頑張っているのではなくみんなで取</p>	<p>①園行事の企画立案に関しては、そのねらいに教育目標との関連付けができてきた。研究保育においても、教育目標との関連性を意識づけていきたい。</p> <p>②令和6年度における指導主務教員の配置は成果があったと考えるが、令和7年度は教員数が減るため配置することができない。令和6年度の成果を次年度に繋げていきたい。</p> <p>③園児数が減少する中で年年少クラスの募集方法を検討していきたい。</p> <p>④行動計画チェック表の見直しについては、教員による話し合いを今後も続けていきたい。</p> <p>⑤アンケートの見直しを図りたい。</p>

			<p>り組んでいるとチームワークが出来ると思います。特に保護者アンケートの実施は、とてもよい取り組みだと思います。聞くところによると相当良い評判を耳にするのはうれしい限りです。</p> <p>⑤保護者アンケートでは、保護者からの意見で気付かされることもあったと思うので、今後も項目の見直しをして取り組んで下さい。</p>	
安全管理	<p>①感染症の発生が続く中、手洗いと消毒の指導を継続するとともに、新しい生活様式を提案していく。</p> <p>②各種の避難訓練を積極的に行うとともに、園児が自分自身を守る方法を考えさせることができるような避難についても訓練していく。</p> <p>③給食による食中毒の対応に関するマニュアルを策定する。</p>	<p>①手洗いと消毒の指導を継続しつつ、マスクの着用については園児も教員も任意とするなど生活様式の変革を図った。</p> <p>②不審者の園内侵入に対する避難訓練を7月に実施した。事案に対する教員同士の連携の在り方を強化していきたい。</p> <p>②通園バスに園児が取り残された際の緊急通報訓練を7月に実施した。</p> <p>②南海トラフの地震が想定される中、9月の地震に対する避難訓練では、第3次避難(津波等を想定し、園外の場所へ避難)を取り入れた。</p> <p>③「食中毒対応マニュアル」を5月に策定した。</p> <p>④平成27年度に策定した「アレルギー症状対応マニュアル」を4月に改定した。</p> <p>⑤「スクールコンプライアンス」に関するガイドラインを5月に策定し研修を行った。</p> <p>⑥「通園バス運行マニュアル」を5月に改定した。</p> <p>⑦「不審者侵入対策マニュアル」を6月に策定した。</p> <p>⑧「不適切保育」に関しての研修やマニュアル等の整備をしていきたい。</p>	<p>①感染症などの対応につきましては、今一度、産業医など関係機関との連携について再確認があればと思いました。</p> <p>①今年度は、園内での感染症の流行が、例年に比べ少なかったように感じます。手洗い、うがいに加え、消毒等、園を通して家庭を通して生活の一部として見につけてきている子どもたちが増えているのかな？</p> <p>①コロナ・インフルエンザ・手足口病・りんご病など1年中なんらかな感染症が流行しているので手洗い、消毒の指導は引き続きしていただき、マスクの着用の任意などは、世の中の情勢に合わせて対応されてよいと思います。</p> <p>②各学年にバランスよく安全教育の担当をおいて訓練している様子が伺えます。</p> <p>②園庭も広く園舎が平屋なので、避難しやすいのは幸いです。</p> <p>②緊急通報訓練は、昨年何度もテレビで拝見することができました。</p> <p>②災害対応については、地域との連携も必要になるかと思えます。また、近年は、想定外の豪雨、豪雪などもあり、通園、通勤に対する状況判断、安全確保についても検討しておく必要があると思えます。</p> <p>②子どもたちの送り迎えの際に、ネームプレートを着用してくるのを忘れてしまった保護者に対して、先生方が注意されていました。安全管理の意識が根付いていると感じ、安心しました。</p> <p>②通園バスの取り残し訓練は、今後もぜひ継続していただきたく思います。すずか幼稚園の訓練はどれも今後生きていくものだと思います。子どもたちに習慣づけることができるよう、抜き打ちでも(先生方にも…難しいですかね)できればよいかなと思います。</p> <p>②他山の石です。毎年実施しましょう。</p> <p>②園児が「自分の身は自分で守る」という事を考え行動できるよう訓練されたことはとてもすばらしいと思います。今後も継続していただきたいです。</p> <p>②～⑧教員も子どもたちも、想定外の時に想定外が起きた場合というのは、指示や行動に戸惑いが出やすくなるもので、いろいろなケースを想定して、いろいろな訓練を経験してみることで、教員も子どもたちも対応力が身に付いているかと思う。と同時に新たな問題や配慮不足の発見や、省略してもよい点等が炙りだされると思うので、園内全員の人命に関することに対しては、これからも随時マニュアルの見直し等に力を入れていただきたいと思います。</p> <p>③マニュアルも、日々対応が変わるものは、随時更新をお願いしたいです。</p> <p>③安全管理に対し精力的に活動されてるのがよく伝わってきます。しかしマニュアルありきでの指導にはリスクを伴いますので、ぜひ3現主義に基づいた活動をお願いします。</p> <p>④食物アレルギーが増えている中、ともすればアナフィラキシーを起こすこともあり、食の大事さを痛感しております。</p> <p>③～⑧マニュアルを拝見しているが、なかなか読みづらく理解しにくいので、とりあえず簡易版で共通知識を持つようにしたらどうでしょうか。また、実際におきた事例をもとに研修するのもよいのではないのでしょうか。(新聞記事参照・記事を印刷し、園内研修をしました)</p> <p>③～⑧策定したら周知のための研修が必須。多忙な中、大変ですが教育活動の基盤なので大切な取り組みです。</p>	<p>①手洗いと消毒については習慣づけることができた。熱中症対策としての水分補給を習慣づける取り組みを継続していきたい。</p> <p>②避難訓練は計画的に実施できたが、園児自身が身を守るような避難訓練は、令和6年度はできなかったもので、次年度は計画していきたい。</p> <p>②通園バスの緊急通報訓練は、継続して実施していきたい。</p> <p>③各種マニュアルを策定で来た。次年度は、「不適切保育」と「土砂災害」に関するマニュアルを策定していきたい。</p>

<p>家庭、地域等との連携</p>	<p>①園行事等の保護者のボランティア要請を広げ、家庭との連携を図る。 ②地域にある高齢者施設との交流(DVD等を活用した)を進める。 ③園から家庭への各種通信を継続して充実させていく。 ④園の行事に関して、報道機関への情報提供を継続して進める。 ⑤子育て支援倶楽部「ボーディ」や「ラッコルーム」「ひよこひろば」の充実を図る。</p>	<p>①学習発表会と卒園ピクニックの際に保護者のボランティア要請を行うことができたが、その他の行事については要請機会を増やしていくことはできなかった。 ②高齢者施設との交流は計画通りにできたが、対面での交流はまだまだできない現実がある。(コロナ禍の影響が残っている) ③「園だより」や「べるきっず」は定期的に計画通りに発行できた。ホームページの更新も進めることができた。保護者アンケートからホームページの重要性を再確認できたことにより、今後も更新を進めていきたい。 ④園の行事はもとより、避難訓練等も情報提供を進めてきた。特に「通園バス緊急通報訓練」は、民放ニュースにも取り上げられ、反響が大きかった。 ⑤子育て支援倶楽部「ボーディ」では、新規に「己書講座」を開催し、参加者からは好評を得ることができた。しかし、全体的に参加者数が減少してきているので、今後の講座の在り方に工夫が必要と感じている。</p>	<p>①③父母の会との連携など含め、コドモンやHPを上手く活用し、保護者とのコミュニケーションの向上を図ることができればと思いました。 ①学習発表会の保護者ボランティアについては不要と感じました。リハーサルなく当日招集された方々であるということもあり、手順や要領がわからず手持無沙汰になっている様子も見られました。役員メンバーからレクチャーしている時間も舞台準備の合間でなかなか難しく、役員と学級委員で人数も足りており、ボランティア不要と感じました。 ①どこまで、園がどんなボランティアを欲しているのか、一度先生方と保護者が話す機会があってもよいかと思います。 ①ボランティア要請の目的を十分につめて、必要なケースで参加していただければよいのではないかと。 ①新しく要請の機会を増やすということは、前例がないだけに、色々な方面から理解を得ることが難しく、大変だと思います。 普段お世話になっている園からボランティアはできる限り協力したいと思っている方は居ると思うので、行事や活動をスムーズに進めるためにも必要な場面には案内を出していただけたらと思います。(例、もちつきの日とか?) ①保護者・ボランティアが根付いてきており、とても良いと思います。父母の会の役員の負担も減り、保護者も園の子どもたちのためにも動けるので、今後も続けていきたいです。 ②一年中、何らかの感染症が流行していて対面での交流はなかなかできないので、子どもたちの元気な歌声や笑い声がとどけられればよいと思います。 ③あらゆる情報をまずホームページで確認する時代になっている中、しっかりとした情報を開示することは、園の信頼にもつながると思います。 ③「べるきっず」は園の様子がよく分かり好ましい。 ③「べるきっず」は園の事、子育てのヒントがとても素敵な情報誌だと思います。ホームページは幼稚園をさがす親にとってはとても重要なので、すずか幼稚園、第2幼稚園のすばらしい所をどんどん紹介して下さい。 ④大根栽培のニュース観ました。時々、こうした取り組みを発信されるのは、保護者も嬉しいと思います。(個人情報があって難しいですが) ④⑤情報発信、ボーディでの活動を含めた交流事業を上手く活用し、すずか幼稚園の良さを上手くPRできれば、今後の園児獲得の一助になるかと思いました。 ⑤ボーディは、働くお母さんが増えている中で、募集方法も工夫が必要かなと思います。 ⑤目的を明確にブラッシュUPして頂きたい。 ⑤参加人数が減少しているので、講座を開くことの意味を考え直してほしい。 ⑤保護者にぜひ読んでほしい本などを取り上げてみてはいかがか。 ⑤実際に参加し、楽しい時間を過ごすことができました。案内に複数の写真を用いる等、内容がわかりやすかったり、関心を持てるような工夫があったりとまた違ってくる？折角の楽しい企画が勿体なく感じます。何かよいアピール方法を探っていきたいところです。 ⑤第2での「ボーディ」の開催もされているが、参加人数が少ないのが残念です。</p>	<p>①保護者ボランティアの要請について見直し、必要な分野でのボランティア要請を行っていききたい。 ②園から家庭への各種通信に関して、メール等の活用が可能な部分はメールにするなど、ペーパーレスを考えていきたい。 ③報道機関への情報提供は、令和6年度はテレビの報道が多かった。今後も継続して情報提供を続けていきたい。 ④子育て支援倶楽部「ボーディ」の講座の見直しを図り、保護者のニーズを考えた講座の開拓を図りたい。</p>
-------------------	---	--	--	--

<p>教育活動</p>	<p>教育課程と幼児理解・援助</p>	<p>①「人とのかかわり」を軸に置いた公開保育および事後検討会の継続を図る。          ②学級活動や自由遊びなどの活動の中で、子どもたちが主体的に取り組む場面を作りだす環境や教材の研究を進める。          ③教育環境を整え教育活動に取り組む際に、SDGsを念頭に進める。          ④鈴鹿市の進める集団適応診断を活用し、特別な支援を要する園児への適切な支援に取り組むとともに、小学校就学に対して円滑な接続ができるよう取り計らう。</p>	<p>①公開保育では、「人とのかかわり」を研修主題として実施することができ、それぞれの担任が自分の公開保育の振り返りを行うことはできた。しかし、事後検討会に関しては時間の確保が大きな課題となっている。          ②自由遊びに関しては、クラスによっては子どもたちが主体的に取り組むことができるような場面設定ができているところもあるが、友だち関係などの話し合いが明確にできていないクラスもあった。学級活動に関しては、特に若年層の教員のクラスには指導主務教員が入ることにより主体的な活動へのアドバイスを行っている。          ③本園の取り組むSDGsを設定し、ホームページにも公表することができた。教育活動上でSDGsを念頭に進めるところまでは至っていないのが現状である。          ④集団適応診断は計画的に進めることができた。また、その結果の活用についても鈴鹿市と連携をとり進めることができた。中には、年長になってからの小学校への就学に際し、年中時の集団適応診断の結果を活用できた園児もいたので、今後も連携を強化していきたい。</p>	<p>①上記の項目でも同じ課題があるように、時間の確保については、園の運営全体での検討が必要だと思います。資料やデータの取りまとめなどについては、Googleフォームの活用などIT技術の活用、他の園のベンチマークがあっても良いのでは思いました。          ①「人とのかかわり」という言葉が概念的でよくわからない。具体的にどうということなのか知りたい。          ①公開保育は、事後検討会こそ大切と考えます。難しい研究協議ではなく、実践に基づいた意見交換が必要。          ①毎月の園だよりに教育目標をおたよりにて毎月の指導計画を全保護者に開示している点において、今教員が何を大事に子どもたちとかかわろうとしているのかと、ねらいを知ることができ、預けている保護者としては、安心できる一の要因だと思います。反省を通して日々の保育に対して向上を図ろうという思いに頭が下がります。          ①子どもたちが初めての集団生活を送る場で「人とのかかわり」に軸を置いて保育を行われていることはありがたいです。          ①自分の保育を客観的に見て意見をいただける機会というのはなかなかないので、事後検討会を開催できる時間、また、方法が見つかるとういことと思います。          ①「人とのかかわり」は、人間関係にとって大切で難しい課題ですが、公開保育を実施し、振り返りを行うことができたのは良いことだと思います。これからも「人とのかかわり」を主に進めていきたいです。          ②指導主務の先生を通じた情報共有が進み、全体的な改善に繋がっていくことなども期待します。          ②自由遊びでは、先生方が子どもたちと一緒にドッジボールやサッカー、追いかけてっこをしている姿が見られ、子どもたちとのかかわりやコミュニケーションを大切にされていると、日々感じます。          ②若年層の担任6名については、ご本人の努力もさることながら経験者のアドバイスが重要になってくると思います。世代間ギャップがあって難しいところですが、人間の本質は変わらないと思うので頑張ってください。          ②指導主務教員の配置はとても良い。          ②各クラスのカラーや発達段階、また、その年、そのクラスによって環境の整え方は変わってくると思うので、普段の子どもたちの様子をよくみているからこそできることかと思えます。そのやり方を若年層の教員たちにも伝えていくことができ、同学年による差の軽減や園全体の活気にもつながっていくと思います。          ③最初にしては充分すぎる発信だと思います。広義に見れば園の活動は寄与していると思います。          ③ホームページを見たが、SDGsについての記述がないように思うのですが。簡単なことから始められるし、成果も期待できるので、個人の目標にも取り入れたらどうでしょうか。          ③大切な視点だけど、優先順位はさほど高くないので、できるところから進めればよいと思います。          ④こども自身や家庭環境の多様性が進むなか、架け橋プロジェクトは重要な取り組みだと思います。今後も市など関係機関と連携して強化できればと思います。          ④小学校への就学時に連携ができることは、困り感や不安を持っている親子にとって良いことであると思います。様々な過ごしにくさを少しでも解消に繋がれるように、今後もしっかり連携していただきたいと思います。          ④集団適応診断で、支援の必要な子どもさんについて親の不安をあおることなく、身近な例を紹介しつつ将来へとつなげていってほしい。          ④集団適応診断を通して関係機関と連携していくのは大賛成です。          ④鈴鹿市の連携により、子ども本人の困り感の軽減や、「保護者の不安の軽減にも繋がると思うので、今後も連携を大切にいただけたらと思います。それによって、書類の作成など、教員の仕事が増えることに関しては、連携を大切にしながらも、何か対策があるとよいなと思います。          ④コロナ禍で人肌に触れることがすくなかった影響もあってか、特別な支援が必要な子が少なかった影響もあってか、特別な支援が必要な子が増えているようです。集団適応診断は早いくちに対応ができる点でよい機会だと思います。支援が必要な園児がスムーズに小学校に就学できるよう小学校や保護者、各機関との共有の取り組みをお願いします。</p>	<p>①「友だちとのかかわり」や「教師とのかかわり」などの「人とのかかわり」に関しては、次年度も継続して取り組むとともに、研究保育に関してはねらいと教育目標との関係についても考えることができるようにしていきたい。          ②若年層の教員が子どもたちの主体的な遊びを研究するため、先輩の保育環境を見学する機会を作りたい。          ③鈴鹿市と連携して集団適応診断を充実したものにしていきたい。</p>
-------------	---------------------	--	---	--	--

<p>研修</p>	<p>教員の資質向上</p>	<p>①研究保育の充実を図るとともに、若年層の教員の指導技術の向上を図る。 ②幼児理解に関する園内研修を継続して行う。 ③一日の子どものエピソードを出し合い、それを基に互いが学び合う研修体制を継続する。 ④園外での研修の機会を積極的に活用し、還流報告を行っていく。 ⑤教員の働き方改革を進めるため、職務に対する満足度を調査する。</p>	<p>①若年層の教員に対する支援と指導を目的に「指導主務教員」を配置できたことは、今後の本園の指導体制を強化できることになると考える。しかし、フリーの教員数を考慮すると毎年の位置づけは困難な面もある。 ②毎月の職員会議の際に園内研修として幼児理解に関する内容を取り上げることができた。また、インターネット上での幼児教育に関する話題などについても、その内容を印刷配布することにより情報を共有することができた。 ③一日の教育活動を終えた後に各学年で子どもたちの様子を話し合っている。こうした時間がOJTや日常的な研修の場となっていると考える。 ④東海北陸地区研究大会に10名の教職員が参加し、園内研修の場で還流報告を行った。研修の成果を発表することにより、研修内容を振り返ることができる。また、プレゼンの技術を磨く機会ともなった。 ⑤職務満足度の調査を行うことができなかった。次年度にはぜひ実施できるようにしたい。</p>	<p>①人的配置が困難になることも見据え、現在行っている指導した実績やデータをどのように整理し、今後に教材などとして活用していかなどを考えることも良いかと思いました。 ①若年層の教員に対して新卒後すぐに一社会人として求められるビジネスマナーの研修などがあると親切なのではないかと思えます。保育活動の中で、子どもとの会話での言葉遣いや挨拶、保護者とのコミュニケーションや電話対応など、いろいろな場面でマナーの指針を持っておくと安心かと思えます。 ①一日の終わりに先生方が子どもたちの様子を話し合う時間は大切だと思います。子ども達の様子は一つ一つが身近なエピソードとなりイメージしやすく、ベテラン先生が、若手の先生に教え、学び合える必要な時間だと思います。 ①②経験値に比例して活動内容は多岐にわたります。新たな取り組みを足すばかりでは時間的に無理が生じます。目的が重複していたり、目的が現状にマッチしていなければ、割愛しなければならない活動もあると思います。タイムパフォーマンス(時間対効果)の概念も今後は教育現場にも必要だと思います。 ②自由参観の際等、指導にあたる教員がフォローできる位置で見守ったりする姿をお見掛けし、若年層の教員への指導やアドバイスが行われている印象がありました。また、普段からその教員も保育の中に入ること、園全体の子どもたちを見守ってくれているのだという暖かい園の雰囲気を感じられました。 ③生成AIの活用で、文字おこしや文章の取りまとめなどは自動でできるようになっているので、このような良い活動を今後に情報として残し活用してような活動に繋がればと思います。 ③一日の教育活動の後、振り返りの時間を持つことができるのは、出来事が新鮮なうちに共有、検討等できると思いますので、今後も継続して持っていただけたらと思います。 ③定員15名のところ、16名の受け入れには、できるだけ入園させてあげたいという園の配慮を感じました。学習発表会を通して、友だちと一緒に舞台に立ち、堂々と遊戯ややり遂げる姿には、教員たちによる日々の保育の細やかな配慮が表れているのだと感じました。 ③担任外以外の教員から、子どものエピソードや成長を教えていただくこともあり、連携や情報の共有に驚いたり、園全体で子どもを見て頂いていることが感じられたりします。様子を話し合うことで見えてくるのが感じられます。様子を話し合うことで見えてくることに気付くこと、気付かれることがあると思うので「日常的な研修の場」というのはぴったりの言葉だと思います。一番身近な研修の場だと思うので、若年層の教員を巻き込みながら、伝える側も教えてもらう側もスキルアップにつながっていくと思うので、これからの時間を大切にいただけたらと思います。 ④毎日の保育に加え、その準備や書類の作成、雑務、名前のない作業と子どもたちに降園後にもやらなければならないことがたくさんある中で、振り返りや話し合いの時間を作ることは大変かと思えます。その時間が今後の子どもたちへと返っていくのかという感謝です。ありがとうございます。 ④⑤人材育成および園内のコミュニケーションが充実していることは、人材確保に繋がると思えます。重要な取り組みと位置付けて、来年度に繋げてもらえたらと思いました。 ⑤負担軽減と本音を聞くために、できるだけ簡単な様式にしたい。 ⑥より良い教育への先生方の意識が高く、頑張っている様子が理解できました。 ⑥令和6年度個人評価表の目標を実現する⑩⑪の自己評価が3に達していませんが、全体的にはレベルアップしているところから、諸先生方の頑張りに感謝します。</p>	<p>①次年度は指導主務教諭の配置は困難であるが、今年度に培った指導体制は継続していきたい。 ②毎月の園内研修は継続していきたい。 ③一日の子どもの様子を共通理解するための時間は、今後も確保していきたい。 ④東海北陸研究大会の参加者による還流報告は、特に若年層の教員にとって発表する機会として重要と考えるので、今後も継続していきたい。</p>
-----------	----------------	--	---	---	---